

事業所における自己評価結果:児発(公表)

公表:令和3年3月2日

事業所名 けいさほはうす

		チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点 工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3		・広さは十分。仕切りがあるとより良い ・午前中は定員割れが多い	広さは十分。仕切りたいところはパーテーションやテープなどで工夫する。
	2	職員の配置数は適切である	2	1	・人数は足りているが午前中は職員が余剰であることが多い ・児童によっては担当者にマンツーマンの支援を任せるべき	職員配置は指定基遵守。次年度は増員の予定。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		3	・男にとって現状の空間は不安を助長する。個々の特性に応じた物理的構造化を計画していくことが必要 ・部屋ごとの仕切りがあると安心できる(気になるものを視覚的に減らす) ・庭で遊べる遊具が少ない。公園活用できるとよい	バリアフリーに特化した仕様になっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	1	2	・車椅子使用の児童と独歩可能な児発の児童が接触する際にリスクが高く安全と言えない ・清掃、消毒はこまめに行えている	清掃、整理整頓は継続。活動空間については、パーテーションやテープで工夫する。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している		3	・Plan→Doの時点で止まっている。日々の支援にチェックが必要	短時間で効率的な会議が行えるように会議の方法を変更する。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		3		アンケート結果をスタッフ間で把握し、業務改善に向け話し合いを行う。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		3		本年度中にHPで公開予定。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3		法人内で行えるよう検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		3	・事業所として個々の職員にどんな知識を得てほしいか明確にし必要な研修に参加させていくべき	外部・事業所内研修にできるだけ参加できるよう調整する。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している		3	・希望、要望がニーズではない。アセスメントとしては情報量が少ない。根拠ありきの計画→実行となる	保護者様からの情報を基に、子どもの状況・課題・保護者様のニーズなどを把握し計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		3		状況把握に適したアセスメントツールを検討中。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている		3		ガイドラインを確認し、支援内容の設定を細やかにやっていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	1	2		計画書から支援方法を考え、実行している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている		3	・個々ではできているがチームとしてはできていない	プログラムについてスタッフで振り返り・修正し、児の特性に合った活動を立案していく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		3	・月又は週で活動を決めて固定化しないよう組み合わせる	子供が興味を持ち楽しく取り組めるよう、様々なプログラムを開発・実行する。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成している		3		個別・集団活動を目的をもって取り入れていく。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		3	・朝の会議中に中断されることが多く支援が明確でない	支援前に前日の振り返り、当日のスケジュールの打ち合わせを実行する。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	2		支援後ミーティングをする時間を設け、職員間での共有・振り返りを行っていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	1		業務日誌には日々の支援の内容や児の反応を記録し、検証につなげている。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している		3		児によってはより細かくモニタリングし計画変更を行っていく。	

	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点 工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している			3 ・児発管が参画している	事前にスタッフから情報収集し、児発管が参画している。必要時には専門スタッフの参画も考慮する。	
	22 母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている			3	必要時連携し支援する。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			3	該当見なし。今後必要あれば対応する。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			3	該当見なし。今後必要あれば対応する。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			3	担当者会議において情報共有している。また、相談支援員から情報収集している。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			3	担当者会議において情報共有している。また、相談支援員から情報収集している。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			3	現在は行っていない。機会があれば受けたい。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			4 ・コロナ禍で難しい	現在は感染リスクをふまえて実行できていない状況。可能であれば取り入れたい。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している			3	現在は感染リスクをふまえて実行できていない状況。可能であれば取り入れたい。	
	30 口頭から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている			3	・事業所と保護者との間で共通理解は持っていない ・担当職員が保護者とのかわり方が特でない。保護者からの連絡帳の情報だけでは把握できていない	送迎時・面談・連絡帳の活用で情報交換はしているが共通理解に達していない。今後は保護者とのかわり方を変更し、十分な情報交換ができるよう工夫していく。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている			4 ・家でできることは伝えて実践してもらったほうが良い	ペアレント・トレーニングに関する情報提供を検討中。		
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	2		重要事項説明書に明記し、契約の際に説明している。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	2	1		保護者様からの情報を基に、子どもの状況・課題・保護者様のニーズなどを把握し計画を作成し同意を得ている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている			3	保護者様からの希望があれば面談の機会をつくり、支援する。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			4 ・コロナ禍では難しい	現在は感染リスクをふまえて実行できていない状況。必要に応じて保護者会などの開催を検討。	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している			3	苦情が寄せられた際には、苦情対応マニュアルに沿って迅速かつ適切に対応する。相談などには時間をとって応じ対応する。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			3	現在会報発行はなく、行事については事前にご案内用紙にてお知らせしている。評価表についてはHPで公開予定。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	4		・書類は鍵付きの書庫に保管してある	個人情報に関する書類等は、鍵付きの書庫で管理している。また事務所の整理整頓に努め、個人情報がか所者の目に触れないようにしている。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	2	1	・可視化で養生テープ、O×、絵カードを使っている	送迎時、面談時、連絡帳を活用しより多くの情報伝達に努めている。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			4 ・コロナ禍では難しい	感染リスクをふまえて実行できていない。	
	非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	1	3		マニュアルについて、HPに公開予定。
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		2	1		2回/年の訓練を実施している。今後も継続する。	
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認している		2	1		発作等の症状や対処方法について保護者より聴取し記録している。時間内服薬について処方箋のコピーを頂く	
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		1	2	・対象見なし	該当見なし。今後必要あれば対応する。	
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		3	1		ヒヤリハット・アクシデントがあった場合、スタッフへの報告・報告書の記録・会議を行い、事務所で共有する。	
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている				3	・再度確認が必要	事業所内で虐待防止マニュアルに沿って研修する機会を増やす。(年1回→3回)
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している				3	該当見なし。身体拘束に関する説明同意書には拘束の条件について明記している。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。